

然し、吾々の失敗は彼の一部担合幹部の如く、此階級の
態度であつた。めでは「飽くまで吾々の態度は
並進階級の利益を最よく代表する階級の態度であつ
た。それは過去に流れた吾々の態度が最もよく之を証
してゐる。

政府、資本家、日知見主義幹部は、吾々が評議会を目して
「共産党」云々と中傷してゐる。会員三萬を擁する日帝現
実闘争のための大衆団体たる吾が評議会が「共産党」た
るが如きことは論を俟たない。吾々が目して「共産党」云々と中傷を
し宣傳するのを知らず、事実に依つて益々我々の白しき事を
知らぬ者がある。吾々が評議会が假令政党内組
織準備機関の中にあること、ふくとも、誠心誠意全心的な
一政党階級の大衆的政党内樹立の爲に忠実なる階級の
精神を以てあつた方法に依り無産政党の組織運

動の完成の爲めに援助し、これに貢献せんと欲するもの
である。
二の爲めに吾々は次の方針をとる。
一) 単一政党の成立の爲めに評議会は飽くまでも準備会を
援助し、無産政党成立の爲めに盡力すること。
二) 地方の加盟會員をして地方の政治闘争に積極的に参加
せしめること。

大正十五年一月二十四日
日本労働組合評議会
第一回拡大中央委員会